

～環境保全へ向け植物の移植を実施します～  
**11月7日「津軽白神湖 湿地ビオトープワークショップ」を開催**

津軽ダム工事事務所では、環境保全の取り組みとして湿地ビオトープを整備することとしております。

どのような湿地を整備していくのか、また、利活用や維持管理についてのプランづくりを行い、湿地環境を育てていく活動を目的に「津軽白神湖 湿地ビオトープワークショップ」を平成25年3月1日に設立しました。

第4回目となる今回のワークショップでは、前回ワークショップで調査した移植候補植物を、試行的に造った池（試行湿地）に実験的に移植します。その後、移植の植物の生息状況をこのワークショップで観察し、活動内容や試行湿地の改良に反映するための基礎データとして活用します。

【開催概要】

- 名称：第4回 津軽白神湖 湿地ビオトープワークショップ
- 開催日時：平成25年11月7日（木）10：00～16：00
- 場 所：西目屋村川原平、大沢川左岸（集合場所：津軽ダム工事事務所）
- 予定行程  
10：00 開会（津軽ダム工事事務所）  
10：30 津軽ダムの生物保全への取り組みの学習（川原平）  
12：30 移植植物の採取、運搬  
14：00 試行湿地での移植作業（大沢川左岸）  
16：00 閉会（津軽ダム工事事務所）

【参 考】

- ワークショップの参加者（平成25年11月1日現在）  
白神山地財団、岩木山自然学校、西目屋村商工会、安藤ハザマ・西松JV
- 第3回ワークショップ（平成25年9月26日開催）概要  
①移植実験のための移植候補植物の調査を実施  
②試行的に造った池（試行湿地）の改良状況を確認

〈発表記者会：弘前市記者会、専門記者会〉

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 津軽ダム工事事務所  
電話 0172-85-3005 FAX 0172-85-3016

調査設計課長 よしだ ひさし 吉田 久（内線351）

専 門 職 たしま まさき 田嶋 正樹（内線350）

参 考

◎第3回ワークショップのようす



【津軽ダム周辺の沢や休耕田での移植候補植物の調査】



【改良前の試行湿地（H25.6）】

【ワークショップの意見を受けて改良した試行湿地（H25.9）】

◎ 案内図

